

担当	北部農林高等学校 国語科
----	--------------

科目名	単位数	対象学年	対象学科
実践国語	2	第3学年	全学科（選択）

1. 概要及び目標

1, 2年生で履修した内容を基盤として、特に表現活動に重きを置いた実践的な国語を学ぶ。「命を考える」ことをテーマに、年間を通して新聞記事の活用や小論文など社会に通ずる学びを深める。また、豊かな言語生活に繋げていきたい。

2. 使用教科書及び出版社名

なし

3. 評価の方法

1, 2学期が100点法（素点）、3学期が5段階で評価される。評価は毎時の提出物によって行う。また、定期考査外で行う豆テストや日々の出席状況、授業態度等も評価に加味する。

4. 授業の形態

選択科目に設置し、希望者の受講となる。

5. その他

- ・漢字ノート（浜島書店）の活用
- ・「新版 漢検級別対応 チャレンジ常用漢字（第一学習社）」の活用
- ・国語辞典の活用
- ・図書館利用
- ・将来の進路に応じた問題集、小論文の活用
- ・漢字検定の奨励

6. 授業計画

No.	単元名・教材名	配当時間	指導目標	指導内容・留意点など
4	エンカウンター ネームレゲーム 春のアンケート	2	<ul style="list-style-type: none"> ・これから共に学ぶ仲間との挨拶、交流。 ・発表に慣れる。 ・アンケートを記入し、自己紹介とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学び合いの関係が作れるように声かけしながら行う。 ・名前を呼び合う喜びについて話す。 ・ネームレゲームでは表現できなかった「自分」を文章で表現し、教師との交流とする。
	表現 文章の 整え方（1）～ （4）	4	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉を書き言葉に ・言い切り型の文を書く ・主述を呼応させる ・接続詞を使いこなす 	<ul style="list-style-type: none"> ・各プリントの「ルール」を押さえて取り組ませる。 ・豆テストを実施することで、身に付けさせる。

5	要約①「日本人の死生観」医療 ・看護分野より 命を考える① 「赤ちゃんポスト」について	2 6	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文頻出テーマより出題し、要約の仕方を学ぶ。 ・『赤ちゃんポスト』は是非か」をテーマに、社会問題に取り組むことで、社会に関心を持たせる。また、自己の意見を培うことを通して、小論文の入り口とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題文を四つの意味段落に分け、筆者の主張がどこにあるのか、問いに答える。また、実際に 200 字以内でまとめる。 ・新聞記事を活用する。また、補足する資料を用意し、理解の助けとする。 ・記事の要約をする。 ・記事の要約をし、世論の双方の意見に対して自分の意見を考える。他者の意見自分の意見を明確に区別し書かせる。
6	志望動機を書く	6	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の進路について明確にすることをねらいとして書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分」について、「将来」について見つめさせる。 ・考えることで、進路実現に対する思いを深めさせる。
7	2 分間スピーチ	8	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間(字数)内で、スピーチすることができる。 ・聞き手に伝わるような文章構成で書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「私の大切な物」をテーマに、600 字で原稿を書き、実際に物を提示しながら、スピーチを行う。 ・発表の際は、自分以外の人の評価を評価カードに従って行う。
9 10	要約② 「安楽死は是非か」 命を考える② 小説『高瀬舟』を通して	12	<ul style="list-style-type: none"> ・要約②として、「安楽死と尊厳死」についての課題文を読み、要約をする。 ・森鷗外の小説『高瀬舟』を読み、さらにテーマに対する考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会問題に関心を持つことで、社会に主体的に関わる姿勢を養う。 ・優れた小説を味わいながら、小説のテーマの一つである「安楽死の是非について」考えを深め、自分の意見をまとめ、議論させる。レポートにまで発展させられるとよい。
11 12 1 2	卒業論文 「自分史」の取り組み 卒業論文提出へ	30	<ul style="list-style-type: none"> ・18 歳の自分を見つめる。 ・主に誕生から小学校卒業までを書く。 ・主に中学校から現在までについて書く。 ・「将来の自分への手紙」を書いて、清書作品を提出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清書作品が原稿用紙換算 20 枚程度になるように各自で配分し、書かせる。 ・過去に想いを巡らす中で、辛い出来事を思い出す場合もある。書きたいことを中心に書かせるよう配慮する。 ・最終ページに教師からのコメントを添えて、卒業前に返却する。

単位数：2 単位 年間授業時数：70 時間